

1 調査名称：神戸市総合都市交通体系調査

2 調査主体：神戸市

3 調査圏域：神戸市

4 調査期間：平成 29 年度

5 調査概要：

神戸市では、平成 25 年に「神戸市総合交通計画」を策定し、公共交通を中心に歩行者、自転車、自動車などがバランスよく組み合わせられた、安全で快適な交通環境を形成することを目指している。

また、平成 27 年 9 月には、「神戸の都心の未来の姿」や「三宮周辺地区再整備基本構想」を取りまとめ、これらの中では、歩行環境の向上や自動車交通のマネジメント、歩行を支援する公共交通の充実を図ることにより、都心部を「人」が中心の交通環境にすることを目指している。

当該地の現状として、都心部に用事の無い通過交通の流入、観光バス・荷捌き・路上駐車車両等による自動車交通の阻害、歩行者の回遊行動の分断、分かりにくい公共交通の路線や料金の設定、都心部と郊外を結ぶ鉄道とバスの競合等の課題があり、最適な交通体系の構築、「実施プログラム」の策定には、これらの課題解決は必要不可欠である。

今後、上記計画を速やかに具現化していくため、交通に関しては、平成 29 年度に「都心・ウォーターフロントにおける交通体系（庁内案）」を策定し、都心部の最適な交通体系を構築するとともに、実施プログラムの策定に向けて、各施策導入による自動車や公共交通、歩行者への影響を把握するべく、社会実験等を通して総合的に検討を行い、交通体系の深度化を図っていく。

I 調査概要

1 調査名

第 47 回神戸まつりに伴う周辺交通流調査検討業務

2 報告書目次

1. 業務概要

2. 自動車交通量調査結果

(第 47 回神戸まつり実施時 平成 29 年 5 月 21 日 (日))

3. 主要地点通過時間別旅行速度一覧表

4. 年度比較

断面別集計及び交差点計 (流入)

交差点別比較

方向別比較

5. 経路比較

6. 参考資料

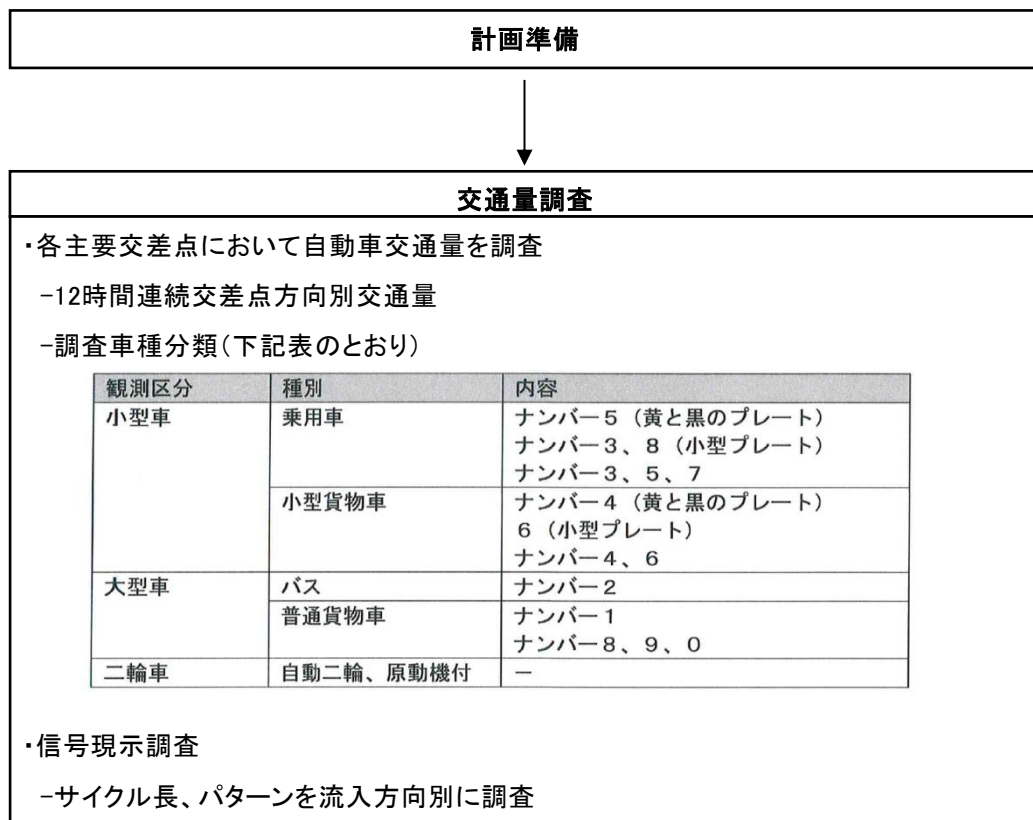
II 調査成果

1 調査目的

都心において「人と公共交通」が中心の交通環境を具現化するために、過年度より交通流の対策検討を実施しており、交通管理者との協議や各施策の整備プログラムを策定するために関係者と連携して検討を進めていく必要がある。

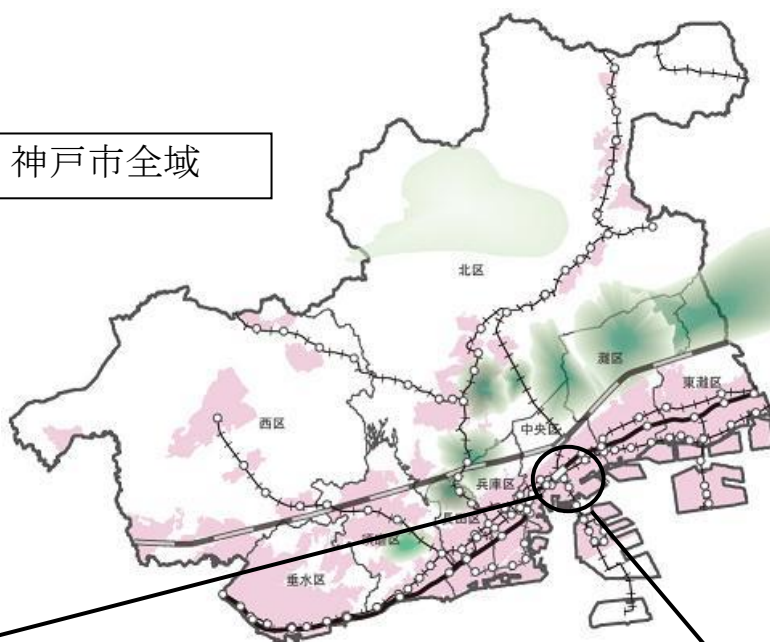
そのような中で、三宮クロススクエアの早期実現を目指して、自動車交通への影響把握や市民・来街者に心地良い空間を体感してもらい、再整備に向けた意識の醸成を図ることが必要不可欠であるため、第47回神戸まつりにあわせて車線規制エリアを拡大し、今後の段階整備の参考とするために実験的に取り組むものである。

2 調査フロー

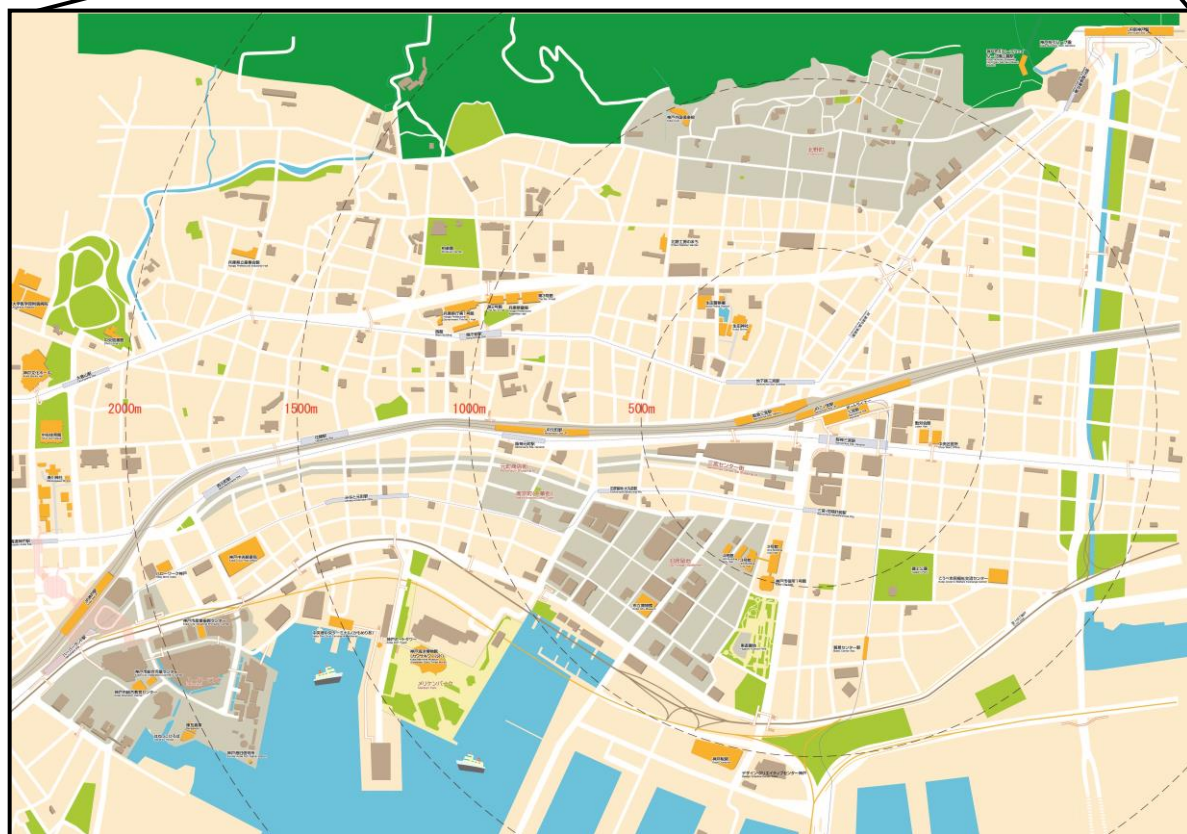


3 調査圏域図

神戸市全域



都心エリア図



調査検討範囲

4 調査成果

自動車交通量は、通常休日と平成 29 年度の神戸まつり時を比較すると、神戸まつり時に、事前周知の徹底により、都心部への流入交通量が減少している傾向が見られた。

また、平成 28 年度の神戸まつり時（第 46 回）と平成 29 年度の神戸まつり時（第 47 回）の自動車交通量を比較すると、三宮交差点西行き交通量が減少し、浜手幹線西行き交通量が増加していることが分かった。これは、規制が増えたことにより、春日野交差点から浜手幹線への迂回車両が増加したものと推測される。

全体の結果としては、1 車線の追加規制による大きな支障はなかったと考えている。

(参考) H29 調査

●日 時

H29.5.21 (日) 7:30~19:00 (交通規制の時間帯)

●調査概要

①規制形態：三宮交差点における西行直進車線を 1 車線追加規制し、神戸まつりのエリアを拡大

(東側：そごう前バス停より規制開始 西側：三宮交差点西側横断歩道部まで規制)

②空間創出：拡大した空間を利用し、休憩スペースとしてベンチ等を設置
(プロモーションの実施)

●調査内容

①規制エリア拡大に伴う自動車交通影響調査

(昨年度の交通量との比較、渋滞状況の調査)

②アンケートによる来場者の意向調査など



交通量調査箇所

I 調査概要

1 調査名称

都心・ウォーターフロントにおける公共交通料金施策社会実験実施及び
検討業務

2 報告書目次

第1章 業務概要

- 1.1 業務概要
- 1.2 業務の内容
- 1.3 業務組織計画

第2章 H29 社会実験の実施及び検証

- 2.1 実施計画
 - 2.1.1 実験の概要
 - 2.1.2 実施内容
 - 2.1.3 実験準備
 - 2.1.4 モニター事前対応
 - 2.1.5 実験実施
- 2.2 アンケートの集計・分析
 - 2.2.1 概要
- 2.3 移動履歴分析
- 2.4 まとめ

第3章 平成30年度社会実験の検討

- 3.1 実験内容の検討
 - 3.1.1 企画乗車券の要件検討
 - 3.1.2 平成30年度社会実験実施内容（案）
- 3.2 企画乗車券事例の収集

II 調査成果

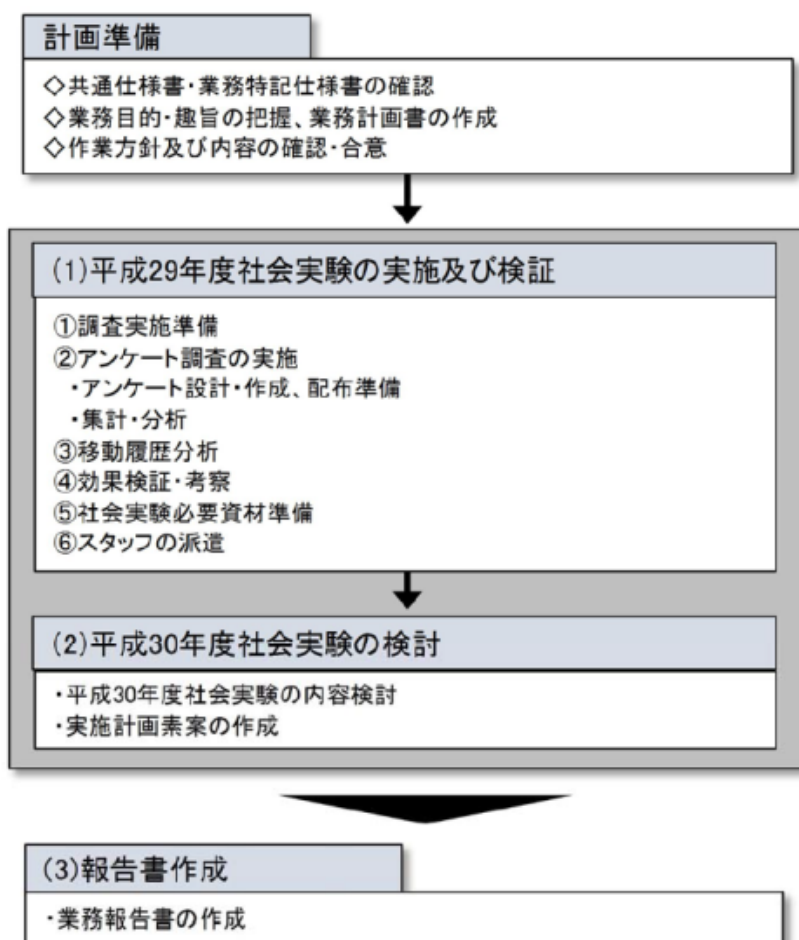
1 調査目的

神戸市では、「神戸市総合交通計画」で、都心・ウォーターフロントにおける主な取組み方針の1つに「公共交通など多様な交通手段の確保」を掲げ、その中でゾーン料金制など公共交通のシームレス化の推進を謳っている。また、「神戸の都心の未来の姿 将来ビジョン」で、わかりやすく使いやすい料金体系で、気軽に公共交通を利用するために、ゾーン内均一料金制度の導入を謳っている。

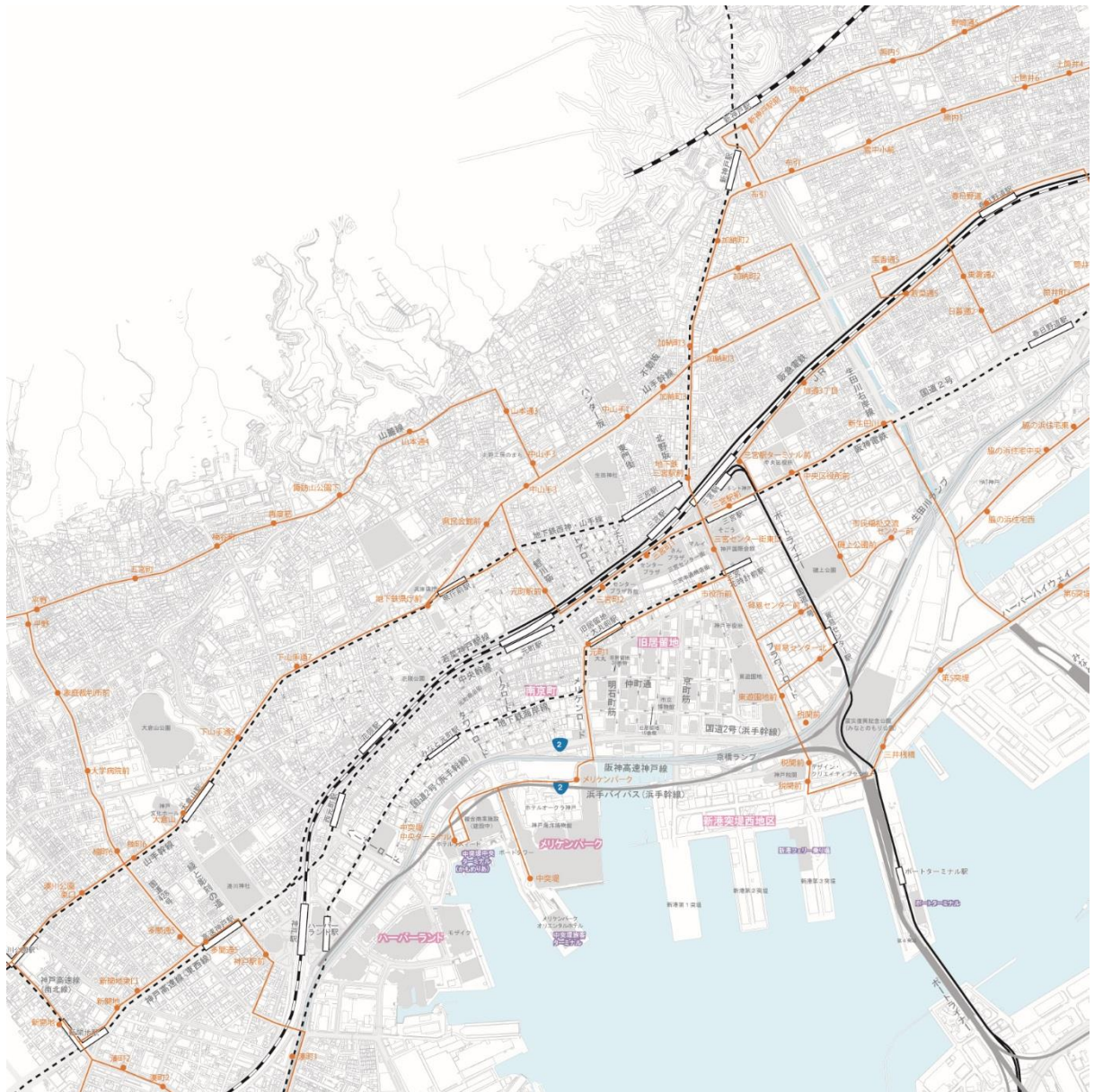
将来的な導入に向けては、適用エリアや適用交通機関、対象者、値段設定など、多くの検討すべき項目があるが、すべての項目を検討したうえで精度を導入するには長時間を要するため、まずは企画乗車券によるわかりやすく使いやすい料金体系を目指す。

本業務では、都心の観光行動の実態やゾーン内均一料金制度に対する意向等を把握することを目的とした社会実験の実施及び検証を行うとともに、平成30年度の社会実験の検討を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

平成29年度のゾーン内均一料金制の社会実験は、平成29年8月から11月末までの4ヶ月間実施し、計358組のモニターの方にご参加いただいた。

平成25年度に実施した企画乗車券を使用していない観光客を対象として調査結果と比較すると、多くの方が広範囲に回遊することや立ち寄りエリア数の増加やまちなかでの滞在時間の増加など、ゾーン内均一料金制度が回遊性向上に寄与することが確認できた。

[参考]

(単位：組)

8～9月		神戸市内	兵庫県内	近畿圏内	その他	総計
事前応募		49	14	18	9	90
当日募集	新神戸駅	0	0	0	4	4
	総合インフォメーションセンター	3	5	10	29	47
	神戸空港	0	0	0	7	7
総計		52	19	28	49	148

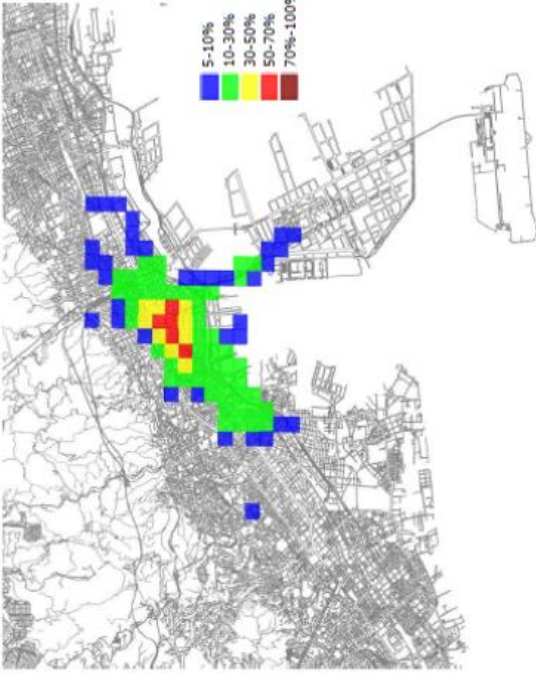
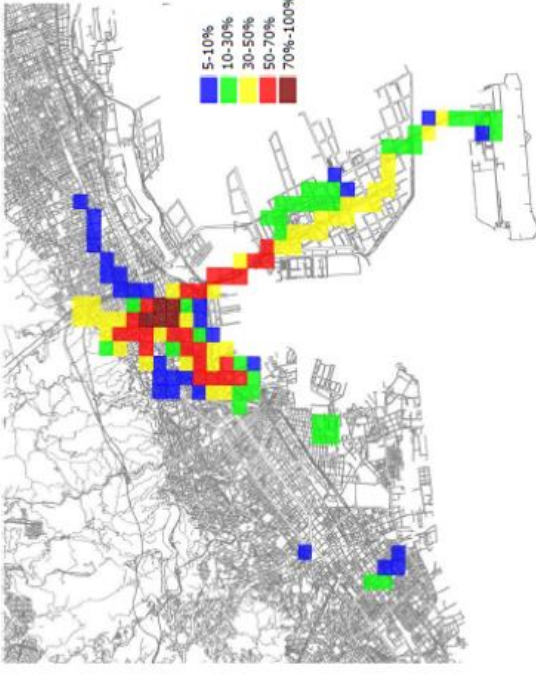
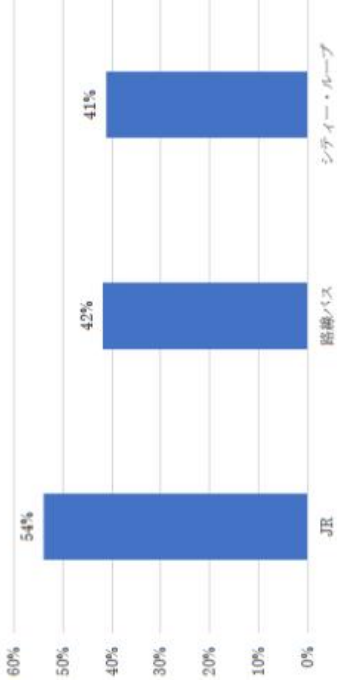
10～11月		神戸市内	兵庫県内	近畿圏内	その他	総計
事前応募		75	43	39	9	166
当日募集	新神戸駅	0	0	0	2	2
	総合インフォメーションセンター	3	3	3	25	34
	神戸空港	0	0	0	8	8
総計		78	46	42	44	210

8～11月		神戸市内	兵庫県内	近畿圏内	その他	総計
事前応募		124	57	57	18	256
当日募集	新神戸駅	0	0	0	6	6
	総合インフォメーションセンター	6	8	13	54	81
	神戸空港	0	0	0	15	15
総計		130	65	70	93	358

[参考] 平成29年度の社会実験

- ・実施期間：平成29年8月1日～11月30日
- ・応募期間：平成29年6月26日～10月31日

ゾーン内均一料金制度に向けた調査・検討 「H29 わかりやすく使いやすい公共交通の料金体系の社会実験結果のまとめ」

比較項目	① H25PP 調査 (企画乗車券なし)	② 改訂版企画乗車券 (10.11 月版)
<p>立ち入り割合の分布 (全モニターの内、当該箇所に入ったモニターの割合)</p>		
立寄エリア数 (平均)	3.3 エリア	4.8 エリア
滞在時間 (平均)	5.0 時間	6.0 時間
追加ニーズがある交通手段		<ul style="list-style-type: none"> ・JR、路線バスについては、8・9 月と 10・11 月の合算 ・シティー・ループについては、8・9 月のみで集計

I 調査概要

1 調査名称

新たな公共交通システムに関するアンケート調査業務

2 報告書目次

- 第1章 業務概要
- 第2章 聞き取り調査
- 第3章 WEB調査
- 第4章 整理分析
- 第5章 まとめ

II 調査成果

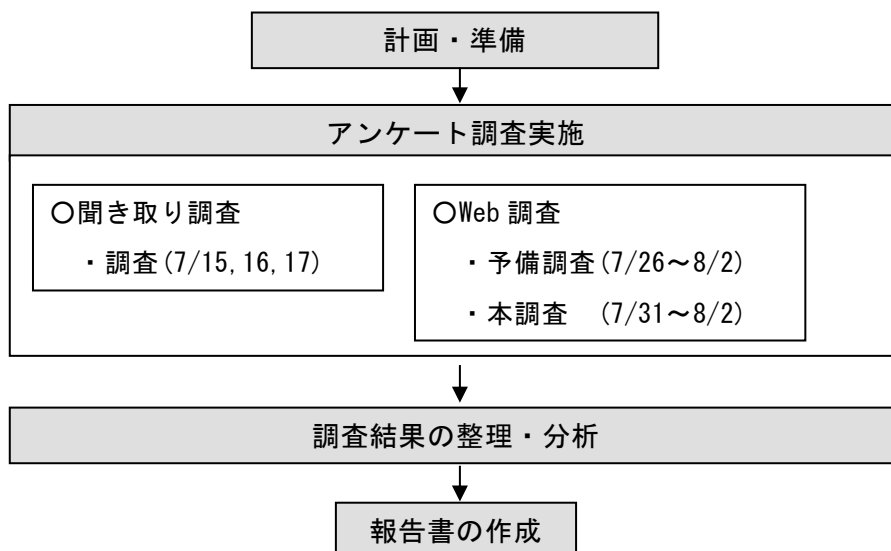
1 調査目的

神戸市では、平成 25 年 9 月に神戸市総合交通計画を策定し、基本方針の一つとして「公共交通中心の交通ネットワークの維持・充実」を掲げている。その方針に基づき、交通結節機能の向上や公共交通ネットワークの利便性向上などを図るため、既存の公共交通の活用に加えて、L R T・B R Tといった新たな公共交通システムの導入可能性について検討している。

これらの検討の一環として、平成 29 年 7 月に三宮～ウォーターフロントを結ぶ連節バスを運行し、都心における交通手段として円滑な運行ができるかの確認や、都心とウォーターフロントの回遊性向上への効果の確認等を行う。

本業務は、社会実験に合わせてアンケート調査を実施し、新たな公共交通システムの導入による回遊性向上や、観光客等の来街者の利用意向などの調査分析を行うものである。

2 調査フロー



4 調査成果

○連節バス運行の社会実験概要



○聞き取り調査

(1) 調査日時

- ・調査日：7月15日（土）、16日（日）、17日（月・祝）
- ・調査時間：連節バスの運行時間と同じ時間帯で実施（11：30～18：30頃）

(2) 収集回答数

- ・海フェスタルート：266件
- ・神戸空港ルート：40件
- ・合計：306件

(3) 調査項目

- ・調査票を参照

(4) 調査結果（一部抜粋）

- ・連節バスについて、今回の社会実験で初めて知ったという方は全体の3割程度であった。
- ・連節バスを知った媒体としては、「神戸市HP」(36%)が最も多く、次いで「広報誌 KOBE」(19%)であった。
- ・連節バスを利用した理由としては、「珍しいバスだから」(60%)が最も多く、次いで「海フェスタ会場へのアクセスのため」(52%)であった。
- ・連節バスを利用して感じたこととして、「車内が広い」(64%)が最も多く、次いで「楽しい」(47%)であった。
- ・その他意見として、スタンションポール（つかみ棒）の認識がなく、「立っている人のつかむ場所がない」といった意見や混雑による低評価が数件あった。また、神戸空港ルートではスーツケースをお持ちの方から、荷物置き場が欲しいとの要望が複数上げられた。

(参考) 調査票

・海フェスタルート利用者用

実施主体：神戸市住宅都市局公共交通課

連節バス運行の社会実験に関するアンケート調査

～新たな公共交通システム（LRT・BRT）関連調査～

調査員記入欄	調査日時：7月（ ）日（ ）時台
	調査場所：三宮、中突堤
	回答者属性：男性 女性 その他
	同行者数：大人 人 子ども 人

回答は、特に指定がない限り1つ選んで、あてはまる選択肢に○をつけてください。
また、（ ）内には、具体的に文字でご記入ください。

(1) あなたの年齢・ご職業を教えてください。

- ・年齢：①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上
- ・職業：①会社員／公務員／自営業等 ②主婦／主夫／無職 ③学生 ④その他（ ）

(2) あなたのお住いのご住所を教えてください。

- ①神戸市東灘区 ②神戸市灘区 ③神戸市兵庫区
- ④神戸市長田区 ⑤神戸市須磨区 ⑥神戸市垂水区
- ⑦神戸市北区 ⑧神戸市中央区 ⑨神戸市西区
- ⑩その他（市町村名 ）

(3) 自由目的（買い物や食事、娯楽、レクリエーションなどの私用目的の移動）で、神戸市都心部（図-1の範囲内となる、三宮周辺やメリケンパーク、ハーバーランド等）にはどれぐらいの頻度で訪れますか。

- ①週5日以上 ②週に1～4日程度
- ③月に1～3回程度 ④2～3ヶ月に1回程度
- ⑤半年に1回程度 ⑥年に1回程度
- ⑦数年ぶりに訪れた ⑧今回ははじめて



(4) 問(3)で①～⑥と答えた方にお尋ねします。神戸市都心部までの交通手段と、神戸市都心部内での交通手段について、主なもの一つのみお答えください。

・神戸市都心部までの交通手段・・・

・神戸市都心部内での交通手段・・・

<選択肢>

①鉄道 ②バス ③自動車 ④タクシー

⑤二輪・原付 ⑥自転車 ⑦徒歩

⑧その他（船舶等）

(5) 本日よりご利用になった連節バスは、兵庫県三田市など各地でも運行していますが、「連節バス」という乗り物について以前からご存知でしたか。

- ①今までに乗ったことがある
- ②以前から知っていたが、乗ったことはなかった
- ③今回のイベントではじめて知った



(6) 本日までご利用になった連節バスを何で知りましたか。(複数回答可)

- ①現地で知った ②神戸市HP ③広報紙KOB E ④SNS ⑤その他メディア
⑥パンフレット等 ⑦知人から聞いた ⑧その他 ()

(7) この連節バスを利用しようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

- ①海フェスタ会場へのアクセスのため ②料金が安いから ③早く着くから
④車内が広いから ⑤珍しいバスだから ⑥特に理由はない

(8) この連節バスを利用して、どのように感じましたか。(複数回答可)

- ①車内が広い ②楽しい ③乗り降りしやすい
④乗り心地が良い ⑤神戸らしい(神戸にあう) ⑥神戸の魅力向上につながる
⑦普通のバスと変わらない ⑧神戸には必要ない
⑨その他 ()

(9) 神戸市内で図-2のような新たな公共交通システムを導入した場合、利用したいと思いますか。

- ①とてもそう思う ②ややそう思う ③あまり思わない ④全く思わない ⑤分からない

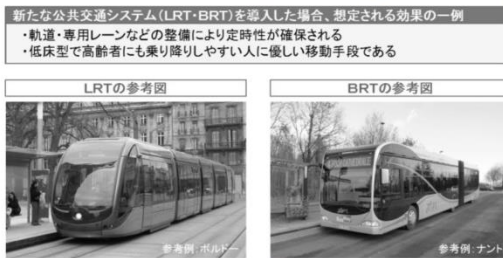


図-2

(10) 問(9)で①~②と答え方にお尋ねします。神戸市内のどのエリアへ運行してほしいですか。(複数回答可)

- ・都心内：①三宮 ②旧居留地 ③元町 ④メリケンパーク
(図-1 参照) ⑤ハーバーランド ⑥新港町 ⑦ポートアイランド ⑧神戸空港
⑨その他 ()

・都心以外：⑩上記以外の神戸市内

※具体的な場所について以下にご記入ください。

(例えば)

⑪郊外・市外と都心をつなぐ運行

(例えば)

(11) 自由目的(買い物や食事、娯楽、レクリエーションなどの私用目的の移動)で公共交通を使って移動する際、重視する点を上位3つまでお答えください。(3つまで)

- ①料金 ②運行頻度 ③運行時間帯
④デザイン ⑤定時性 ⑥到着までのはやさ
⑦他の交通機関との乗り換えのしやすさ ⑧自宅から最寄り駅・バス停までの移動距離
⑨その他 ()
⑩特にない ⑪自由目的で公共交通は利用しない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

・神戸空港ルート利用者用

実施主体：神戸市住宅都市局公共交通課

連節バス運行の社会実験に関するアンケート調査

～新たな公共交通システム（LRT・BRT）関連調査～

記入欄
調査員

調査日時：7月（ ）日（ ）時台
調査場所：三宮（神戸空港ルート）

回答は、特に指定がない限り1つ選んで、あてはまる選択肢に○をつけてください。
また、（ ）内には、具体的に文字でご記入ください。

(1) あなたの年齢・性別・ご職業を教えてください。

- ・年齢：①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上
- ・性別：①男性 ②女性 ③その他
- ・職業：①会社員／公務員／自営業等 ②主婦／主夫／無職 ③学生 ④その他（ ）

(2) あなたのお住いのご住所を教えてください。

（ ）都道府県 （ ）市町村 （ ）区

(3) 神戸空港では、どの路線をご利用しましたか。

- ①札幌（新千歳） ②茨城 ③東京（羽田） ④長崎
- ⑤鹿児島 ⑥沖縄（那覇） ⑦見送り・お迎え ⑧その他（ ）

(4) 今回、空港を利用された目的は何ですか。

- ①神戸市内での観光（具体的な観光場所）（ ）
- ②神戸市外での観光（具体的な観光場所）（ ）
- ③ビジネス ④帰省・帰宅 ⑤その他（ ）

(5) 神戸空港まで、又は神戸空港からの移動手段として、次の選択肢（①～⑥）のような交通手段があるとしたら、あなたはどの交通手段を利用したいとお考えですか。（複数回答可）

- ①ボートライナー ②シャトルバス（連節バス車両、三宮－空港間直通）
- ③シャトルバス（観光バス車両、三宮－空港間直通） ④リムジンバス（目的地まで）
- ⑤タクシー ⑥自家用車

(6) 本日よりご利用になった連節バスは、兵庫県三田市など各地でも運行していますが、「連節バス」という乗り物について以前からご存知でしたか。

- ①今までに乗ったことがある
- ②以前から知っていたが、乗ったことはなかった
- ③今回のイベントではじめて知った



(7) 本日よりご利用になった連節バスを何で知りましたか。（複数回答可）

- ①現地で知った ②神戸市HP ③広報紙KOBÉ ④SNS ⑤その他メディア
- ⑥パンフレット等 ⑦知人から聞いた ⑧その他（ ）

（裏面へ続く）

○WEB 調査

本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

I 調査概要

1 調査名称

平成 29 年度新たな公共交通システム (LRT・BRT) の導入可能性検討業務

2 報告書目次

第 1 章 交差点部分における LRT ルートの検討

第 2 章 LRT・BRT・連節バスの比較表

第 3 章 庁内研究会の資料作成及び会議補助

参 考 税関線におけるルート検討

II 調査成果

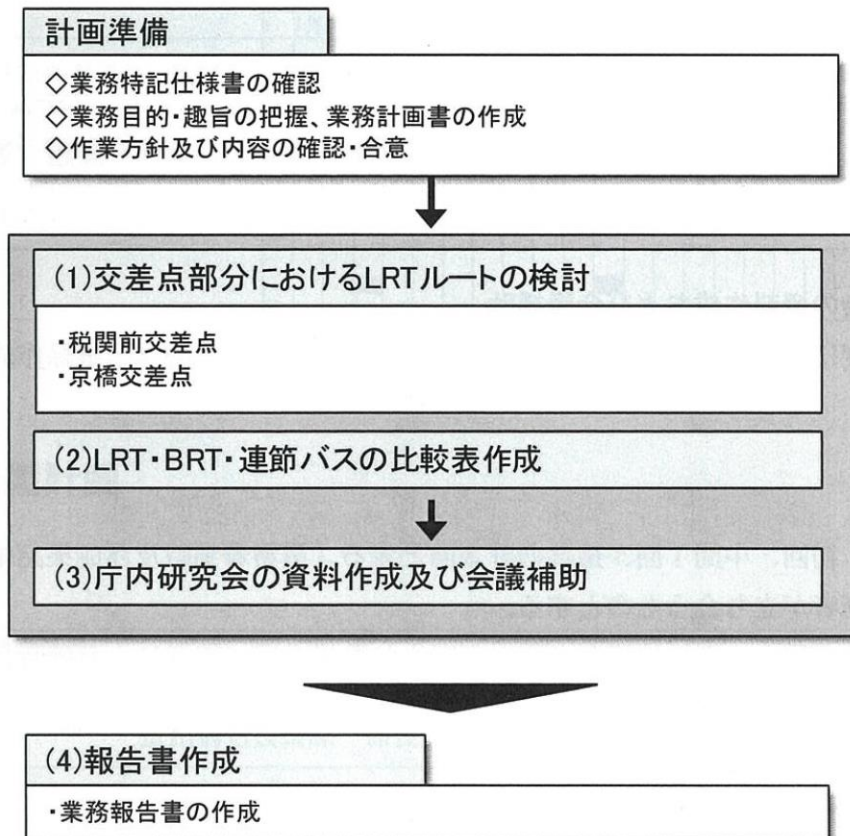
1 調査目的

神戸市では、平成 25 年 9 月に神戸市総合交通計画を策定し、基本方針の一つとして「公共交通中心の交通ネットワークの維持・充実」を掲げている。その方針に基づき、交通結節機能の向上や公共交通ネットワークの利便性向上などを図るため、既存の公共交通の活用に加えて、LRT・BRTといった新たな公共交通システムの導入可能性について検討している。

平成 28 年度は、新たな公共交通システムとして、都心の交通体系の中での位置づけ、道路上での物理的な制限、道路交通への影響、既存公共交通との役割分担等の検討を行った。

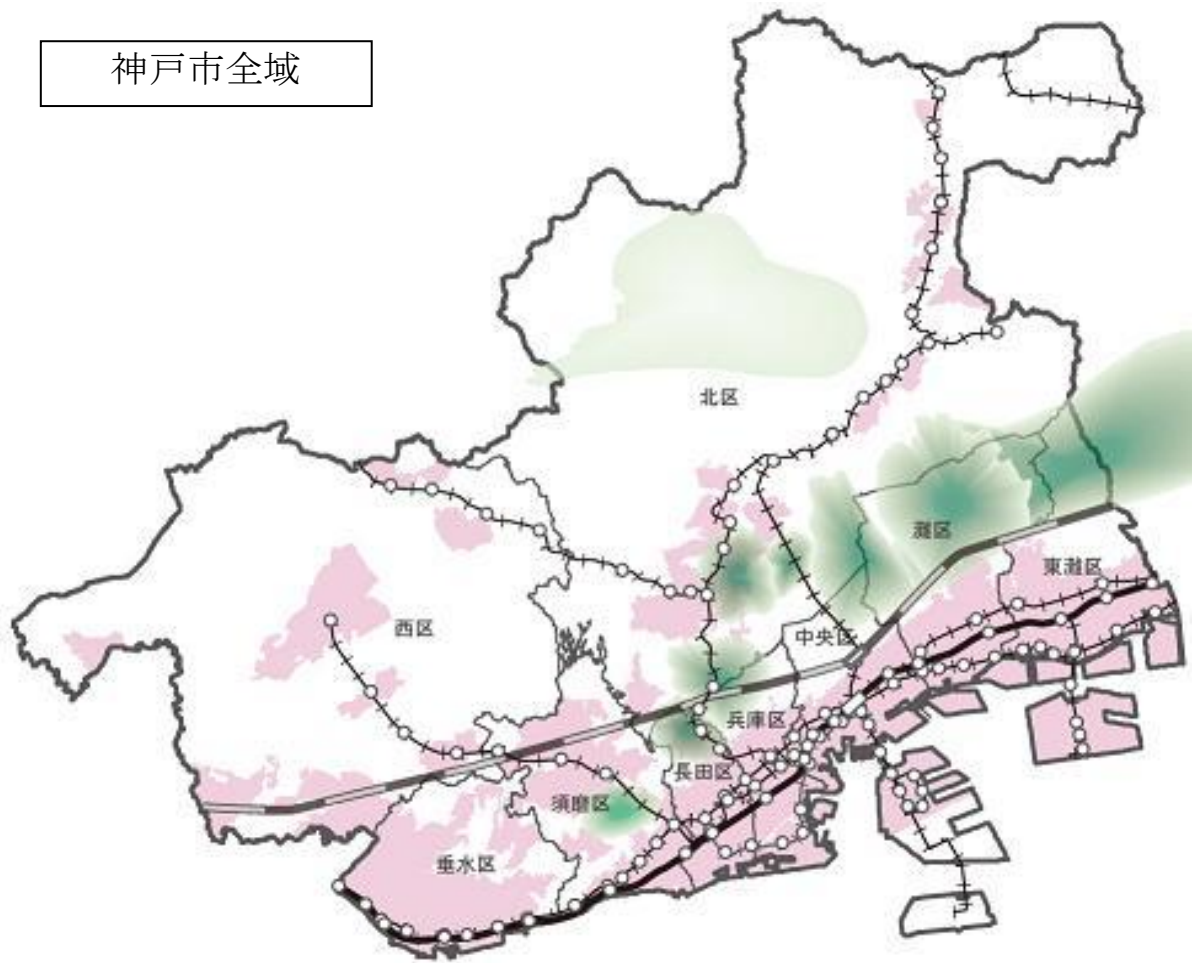
本業務では、平成 28 年度の検討内容を基にウォーターフロントへのルートに関する課題を整理し、導入における各公共交通システムの評価・比較を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図

神戸市全域



4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

I 調査概要

1 調査名称

平成 29 年度 KOBE パークレットにおけるデザイン検討業務

2 報告書目次

1 特記仕様書

2 デザイン検討

2－1 パークレット_コンセプト

2－2 博物館前（京町筋）基本デザイン案

2－3 JR 北口駅前基本デザイン案

3 参考図面

3－1 博物館前（京町筋）実施設計図

3－2 博物館前（京町筋）数量表（京町筋）

3－3 JR 北口駅前実施設計図

3－4 JR 北口駅前数量表

4 事業への助言

4－1 今後の展開 1

4－2 今後の展開 2

4－3 効果検証助言・提案

4－4 会議メモ 1

4－5 会議メモ 2

4－6 会議メモ 3

※JR 北口駅前に関する項目は国費対象外

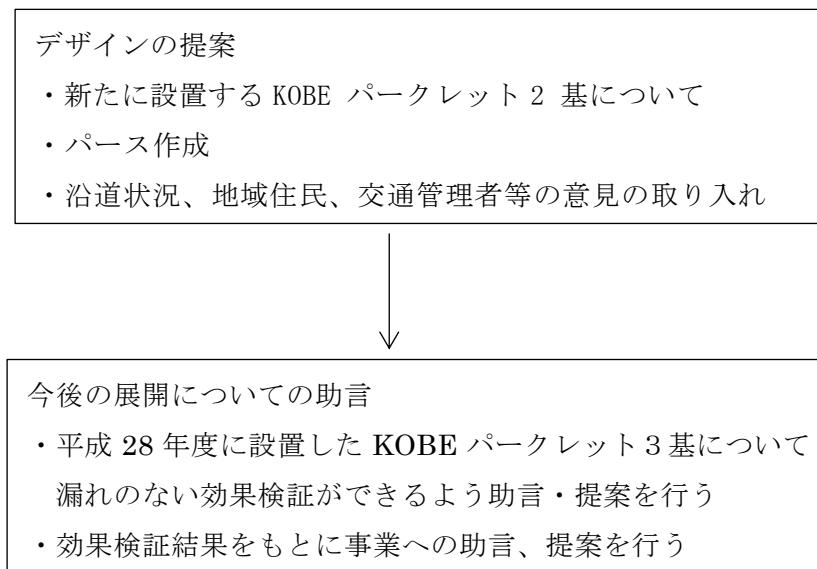
II 調査成果

1 調査目的

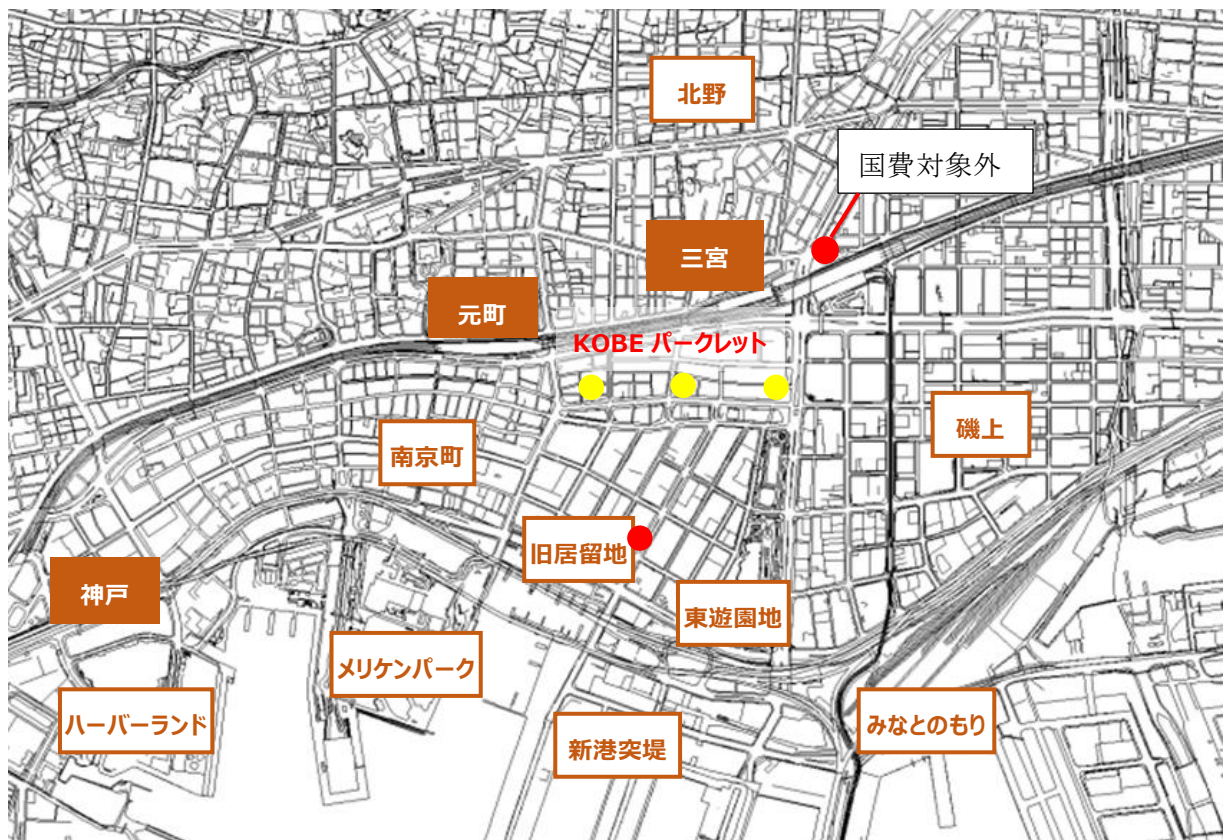
本市では、平成 28 年度の社会実験を踏まえ、都心において歩行者の回遊性向上を目的に KOBE パークレットの拡充を行う。これについて、平成 29 年度新たに設置する KOBE パークレット 2 基におけるデザインの提案や、効果検証、今後の展開について助言を行う。

※JR 北口駅前に関する項目は国費対象外

2 調査フロー



3 調査圏域図



● デザインの提案を行うパークレット設置予定箇所

4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

I 調査概要

1 調査名称

平成 29 年度 KOBE パークレットにおける効果検証及びあり方検討業務

2 報告書目次

序章 実施計画書の作成

序-1 業務計画書

序-2 効果検証に関する実施計画書

1 章 KOBE パークレットの設置検討

1-1 製作発注用図面の作成

1-2 関係者に説明するための CG の作成

1-3 本体製作に向けたコスト削減の検討提案

2 章 効果検証

2-1 調査概要

2-2 調査結果

(1) 利用者数調査

(2) 歩行者交通量調査

(3) 荷さばき車両調査

(4) 利用者アンケート調査

(5) ビデオ調査

(6) 通行者アンケート調査

(7) グループヒアリング調査

2-3 今後のあり方整理

3 章 今後の展開に向けたスキーム検討

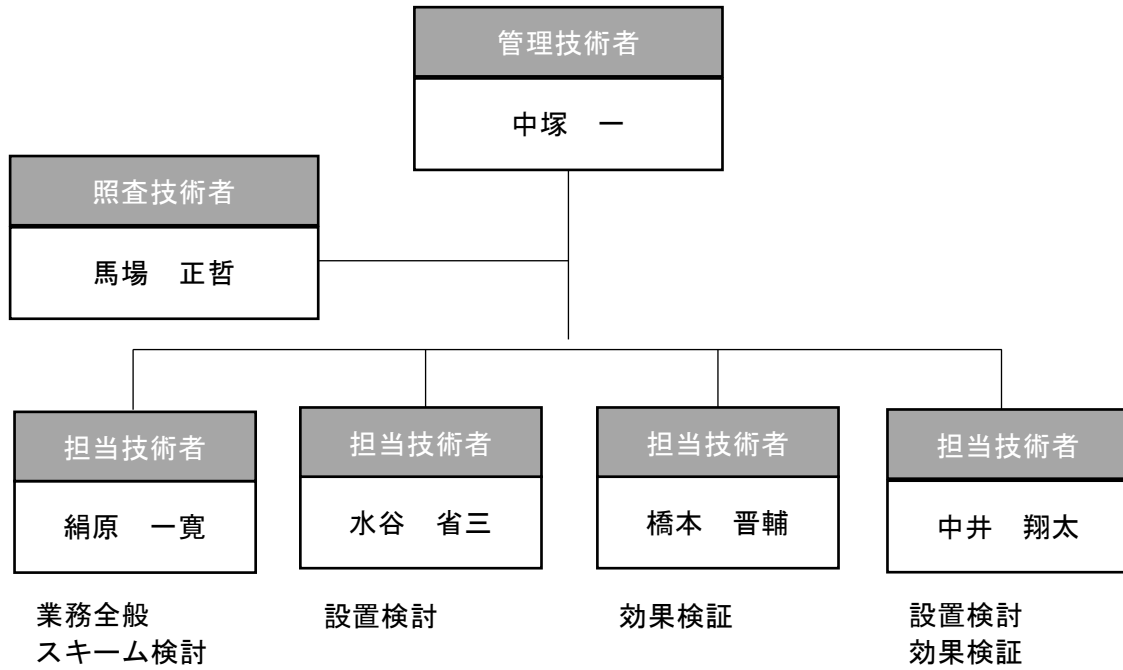
3-1 KOBE パークレットの拡大に向けて

3-2 公募要領の作成

3-3 広告物の取り扱いに関する検討

4 章 交通管理者及び地元への説明資料作成

3 調査体制

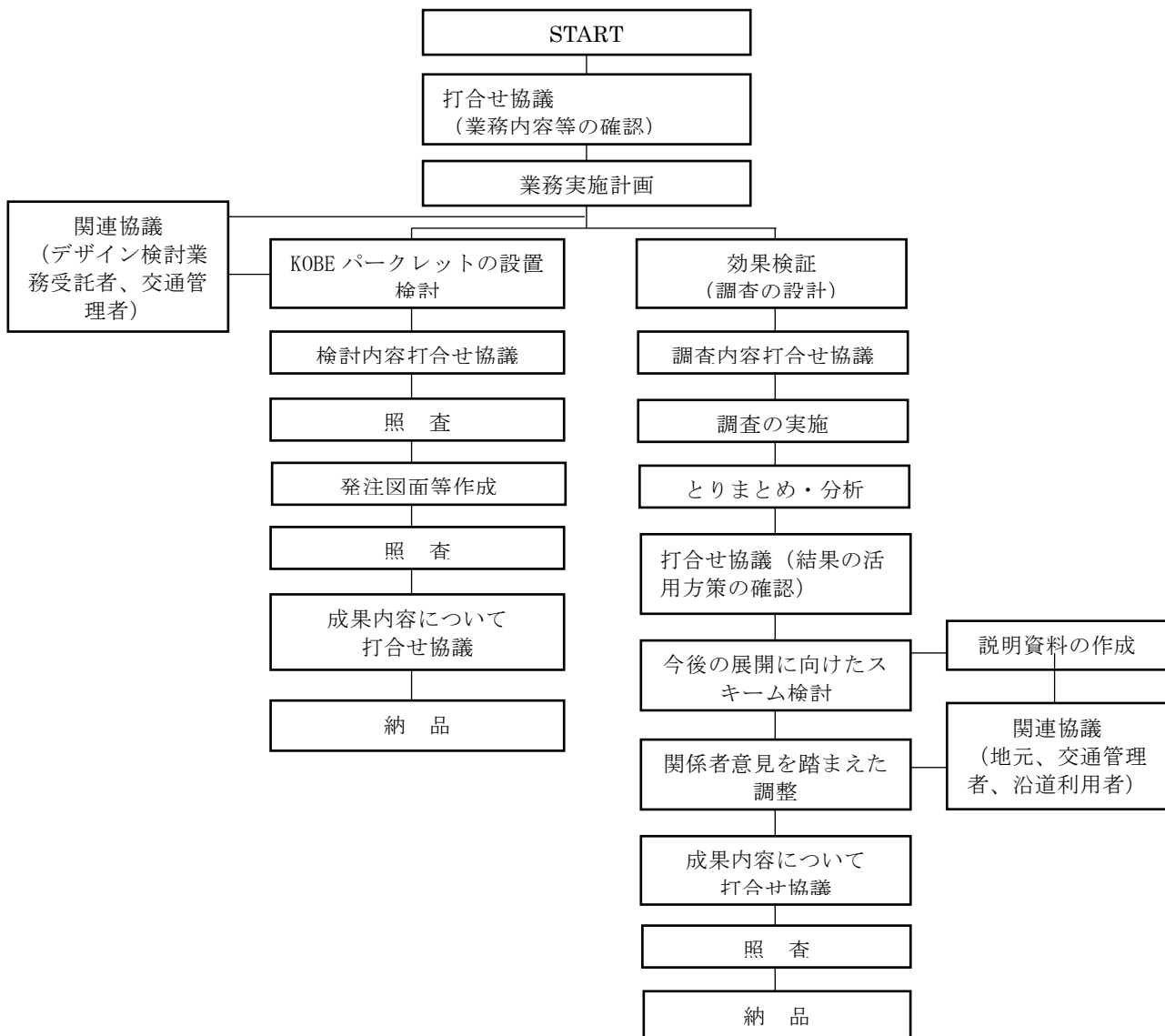


II 調査成果

1 調査目的

三宮中央通りに既存の3基、及び京町筋に新設するKOBEパークレット1基において、効果検証を行った上で、道路を活用した憩い・賑わい機能をもつ空間における効果及び課題を把握する。また、居心地の良い空間を継続的にマネジメントとすることを目的に、新たな仕組みの構築に向けた検討を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図



図1 利用者数調査（三宮中央通り）



図2 利用者数調査（京町筋）



図3 歩行者交通量調査

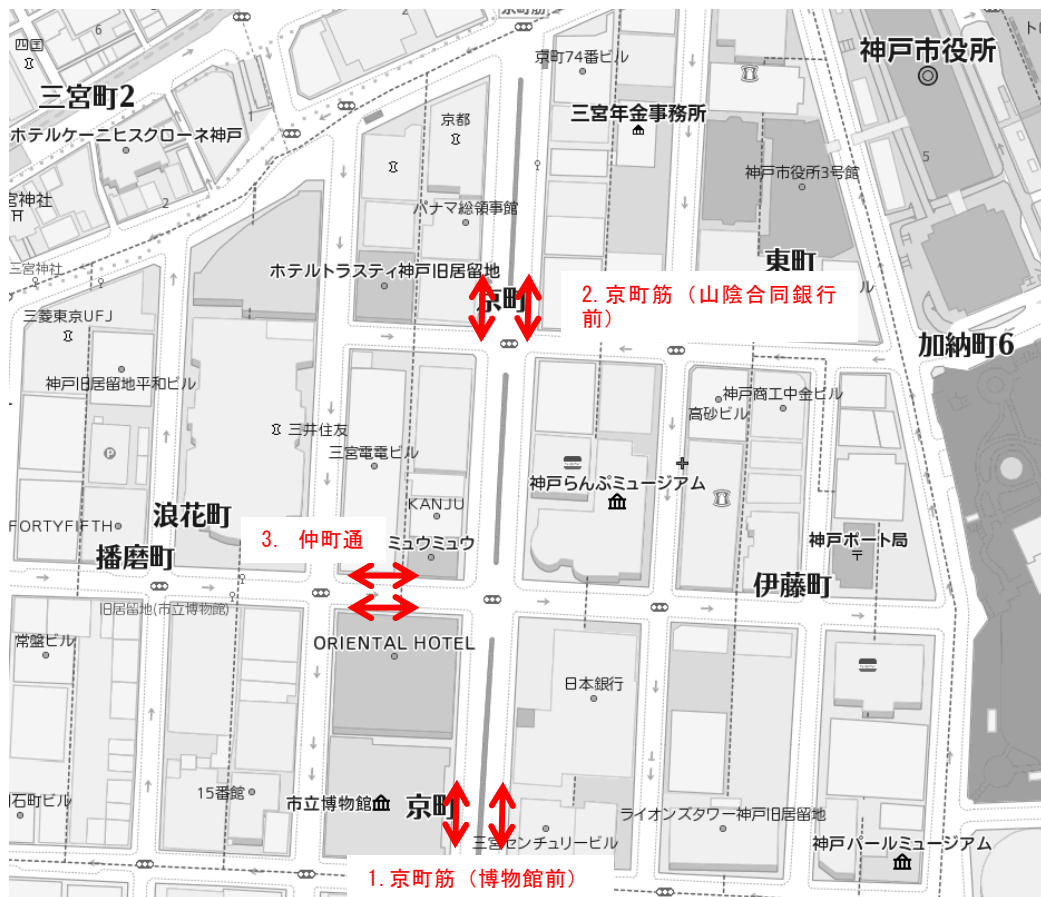


図4 歩行者交通量調査



図5 荷捌き車両調査（三宮中央通り）



図6 利用者アンケート調査及びビデオ調査（三宮中央通り）

4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。